



広報

78

7月8日を「なはの日」に。

第642号 毎月1回発行
2004年(平成16年)

7月

なは市民の友

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株式会社

市の人口と世帯	
()内はうち外国人 2004(平成16)年5月末現在	
総人口	311,869(1,914)
男	150,895(991)
女	160,974(923)
世帯数	124,312(1,139)
本 庁	89,877
真和志	105,570
首 里	58,975
小 祿	55,533



新しい魅力と風格あふれる都市に

「なはの日」制定に向け イベント開催

王府時代、王都首里を「スイ」、
商都那覇を「ナーフア」と称し、
二つの都を「スイナーフア」と呼
び親しみました。

河川からの土砂の堆積で生まれ
た那覇は、古くは「浮島」と呼ば
れる長さ2km、幅1kmの小島でし
たが、15世紀に建造された長虹堤
により首里と結ばれました。

那覇・首里の両特別区に市制が
が施行されたのは1921年(大
正10年)のことでした。

その後、那覇は沖縄戦の未曾有
の苦難を乗り越え、近隣の首里市
小祿村、真和志市と合併し、現在
の那覇市をかたちづくりしました。

日々、膨張し続ける那覇の新た
な個性を掘り起こし、那覇を全国
に発信していくという熱い思い
で集まったみなさんにより、いま

7月8日を「なはの日」にしよう
という活動がわきおこっています。
7月8日を中心に那覇を愛する
多くの人々により開催される「那

覇の日制定」イベントが、新たな
那覇の魅力発見のきっかけになり
元氣な那覇を広く全国にアピール
していく多彩な取り組みにつなが
っていくでしょう。

真夏の夢はふくらむばかりです。
(2面に関連)

主な紙面

7月8日を
「なはの日」にしよう！
ユイメール登録制度をご存知ですか？
お楽しみ情報
夏休みだよ全員集合！
通常選挙の投票日です
情報PACK

7 6 5 4 3 2

市長談 2人談 TAIDAN 15



原島 秀毅
元外務省沖縄大使

昭和12年愛媛県生まれ。一橋大学卒。
昭和37年外務省入省。在フランス大使館
をはじめ世界各国で勤務。昭和天皇のフ
ランス謁見通訳担当、在ニューヨーク国
連代表部公使などを経て平成9年沖縄担当
特命全權大使。平成13年外務省退官とと
もに那覇市に移住。美ら島大使。

翁長雄志市長 沖縄担当大使として
様々な行事に参加され、沖縄に対
する愛情をお伺いすることができ
ます。現在、那覇市にお住まいの
ようで、また、サンシンもなさっ
ているそうですね。

原島秀毅さん 仕事を通じて県民の
方々と共通の課題に取り組んでい
くにつれ、沖縄の歴史・文化、社
会固有の温かさなど、その
魅力に惹かれました。サン
シンについては昨年、琉球
民謡協会の新入賞を頂きました。
同じ教室に、若い子
どもたちもいますが、伝統
的なものが受け継がれてい
ることが、すごく魅力的に
感じます。

市長 近年、子どもたちにと
って沖縄・琉球の文化が誇
らしいものになっていると
感じています。小さな頃から
学校や地域を通して、サ
ンシン、エイサーなどの伝統芸能
に取り組んでいる姿を見ると、沖
縄の将来が楽しみです。

原島 沖縄の伝統的なイベント、那覇
大綱は世界一というだけの熱気
とバイタリティーがあります。この感
動を、大綱挽の日以外に訪れた観光
客にも強く印象づけるために、映像
を空港で放映し、その側に雄綱と雌
綱とカヌチ棒を展示して伝統文化を
紹介するなど、検討していただきた
いと思います。さらに市長の証明書
付きの当日の「綱」を豊後のお守り
として販売してはいかがでしょうか。
市長 販売することで、展示する資

美ら心を受け継げる未来を

市長 私たちが小さい頃から受け継
いだものは、素晴らしい財産であ
ることを再認識することができま
した。しっかりと見直し、育
んでいきたいと思っています。

原島 大綱は世界一というだけの熱気
とバイタリティーがあります。この感
動を、大綱挽の日以外に訪れた観光
客にも強く印象づけるために、映像
を空港で放映し、その側に雄綱と雌
綱とカヌチ棒を展示して伝統文化を
紹介するなど、検討していただきた
いと思います。さらに市長の証明書
付きの当日の「綱」を豊後のお守り
として販売してはいかがでしょうか。
市長 販売することで、展示する資



本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がございましたらお寄せ下さい。
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を
使用しています。